

Masquerade

支部の SHIBU

5419010 濱田優香 5419021 中野沙弥香 5419038 田中麻衣 5419042 福寿りり子

2021 年 7 月 25 日

1 作品の目的

- 対象ユーザー：13 歳以上の創作物、特に絵や小説に興味がある人々
- 目的：

今回作成する Masquerade は匿名上で企画者と創作者をつなげ、より多様な創作物の作成に貢献することを目指したシステムである。ここでいう創作物とは絵や小説を想定したものとする。ジャンルごとの分類を行い、多くの人の目に触れることによってひとつの企画に対して複数の視点の元、様々な作品を創作できる環境を整える。さらに、期限や方法の設定を行わないことによって創作物の自由度を高め、ユーザーのニーズに合った作品を生み出しやすくする。

2 作品構成

2.1 概要

複数人で創作物を共同制作するシステムを作成する。大まかな企画の案から、詳細設定まで、ユーザーは掲示板に自由に書き込むことができる。その際、ホラー、ファンタジーなどジャンルごとの部屋を作成し分類を行う。創作者は自分のニーズに合った部屋で自分の求める企画を探し、企画をもとに作品を作成する。制作後は一度既存の創作物投稿サイトなどにアップロードし、企画投稿にリプライする形で作品リンクを貼ってもらう。この投稿形式をとることによって過去に企画書と類似した作品を投稿していた場合、もしくは類似作品を見つけた場合その作品のリンクを貼ることもできる。

2.2 独創的な点

既存の掲示板システムとの相違点は創作物の企画を扱うことに絞った事であり、雑談や相談などの多くのコメントに企画書が埋もれてしまうことを防いでいる。また、送る対象を一人に特定しないことによって、頼む立場による遠慮や1対1でのためらいを緩和し、意見を幅広く取り入れた創作活動ができる。さらに、企画者と投稿者の双方を匿名にすることで自由に投稿しあうことができる。

2.3 匿名性について

既存の twitter や pixiv ではアカウント名が存在し、アカウントごとにフォロワー数などの違いが生じてしまい、匿名性が薄れフォロワー数の差によってコミュニケーションをとりづらくなってしまう。しかしアカウント名をなくし完全な匿名性を保つことによって、立場などの余計なコミュニケーション弊害をなくしより自由な創作活動を支援できるようにする。

また、匿名性が高まることによって剽窃や盗作の識別ができなくなってしまうことが懸念されるが、警告機能を利用し盗作を行ってと思われるアカウントに対し警告やアカウントの停止をすることによって盗作行為の抑制を試みる。企画案に関してはすべてを著作権なしのフリー素材にし、そのためアカウント作成時にすべての企画書に関してフリー素材として扱うことの同意を得る。

2.4 投稿に関する仕様 1

投稿はすべて匿名となり、ユーザー名が表示されることはない。また、各種投稿に対する反応は簡易的なメッセージ付ボタンとコメントの2種類を考えている(図 3.2)。誹謗中傷への対策として、ボタンは「いいね」や「ありがとう」、「わかる」等の肯定的なメッセージのみにし、コメントに不適切と感じた場合は各ユーザーが通報を行えるようにする。一つのアカントに対し一定数の通報が入るとそのアカウントでの投稿、コメント、リプライが行えなくなる。企画に対して作品をリプライする際、本人の作品である場合も他者の作品である場合も、基本的に作品のリンクを貼るという形をとるため、作品投稿者の匿名性を確保できる。

2.5 投稿に関する仕様 2

企画の投稿には、サイト側でテンプレートを用意する。以下はテンプレート内容の例である。

- 注意書き等
- 作品概要
- 世界観
- キャラ設定
- 自由記述欄 ex) 用語, 特殊設定

投稿者はテンプレートに沿って企画を投稿する。(※すべての項目を埋める必要はなく、決まっている設定のみ書いて投稿することも可能) また、他の企画書に乗っている世界観やキャラ設定を引用したい場合、テンプレート内で引用することができる。投稿した企画書は再編集ができ、コメントから新たな設定を追加できる。

3 システム設計

3.1 レイアウト

下記のようなサイト制作を行う

- ホームページ

以下のページへのリンクを乗せる.

- ジャンルごとの掲示板

ジャンル別の企画案投稿ページ. 匿名の企画者たちが投稿した企画を閲覧できる. 企画とは主にストーリー構成やキャラクター構成などを想定しており, 主に文章での投稿を想定しているが, 資料として pdf や画像の投稿もできる. なおコメントの投稿はできない.

- * 企画書ページ

投稿された企画書を閲覧するページ

- リプライ投稿

企画書をもとに作成した作品の URL を投稿. 投稿できる URL は pixiv, twitter のもののみ.

- コメント投稿

企画案や作品に対するコメントまたは企画から発想した構成案やキャラクター案などのコメントを投稿する.

- 企画書投稿ページ

企画書の投稿を匿名で行う. 該当ジャンルを選択して投稿する. この時ジャンルを複数選択し, 複数の掲示板に投稿することもできる. なお企画書は著作権なしのフリー素材とする.

- アカウント登録画面

各投稿を行う際必要となるアカウントを登録する. パスワード, 電話番号もしくはメールアドレスのアカウント情報を登録する. 登録番号をもとに通知や通報を行う.

- ログイン画面

登録したアカウントでログインを行う.

- アカウント設定画面

登録したアカウント情報の変更を行う (図 3.2).

3.2 システム利用方法

1. ユーザーはアカウント登録をする
2. 興味のあるテーマのページを選択し, 移動する
3. 企画投稿画面に遷移するため, 企画の投稿や閲覧ができる
4. 投稿された企画をクリックすると, 企画に対する反応 (ボタン・リプライ) が可能になる



図 1 アカウント設定



図 2 ホーム画面



図 3 アイデア投稿画面

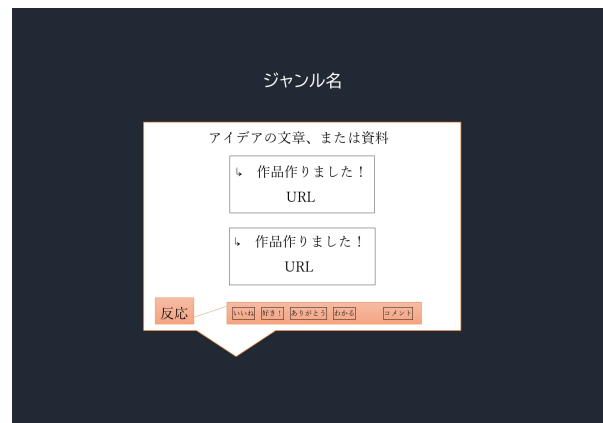


図 4 作品投稿画面

4 制作計画

4.1 日程

- 4月下旬から5月末
企画書作成, 企画の話し合い, 企画の修正
- 6月4日
企画発表会
- 6月中旬から7月上旬
作品制作 (各自担当箇所のプログラム作成, 各自担当箇所を一つのプログラムに結合, 作品完成)
- 7月16,30日
成果発表

4.2 役割分担

- 全員
ホーム画面作成
- 濱田, 田中
掲示板, アカウント登録画面, アカウント設定画面の制作
- 福寿, 中野
企画書投稿画面, ログイン画面の制作

参考文献

- [1] 参考文献の名称・著者 1
- [2] 参考文献の名称・著者 2